

令和2年度学校評価について

兵庫県立尼崎西高等学校

1 自己評価について

学校評価の重点に基づいて作成した評価項目について、本校教職員による自己評価を行い、次の様に数値化した。

[4] 達成できた [3] おおむね達成できた [2] あまり達成できていない [1] 達成できていない

本校教職員43名が回答し、全回答の平均は2.85であった。

なお、表の右側に2.9以上は◎、2.8以上～2.9未満に○、2.8未満には△の印を付けて評価した。

A 日々の授業の充実		2.84	○
重点課題	①授業研究の推進	2.85	○
	②生徒の意欲を高める方法の研究	2.83	○
B 生徒への励ましと理解		2.81	○
重点課題	①さまざまな場面での自己有用感、自尊心を高める	2.80	○
	②多様な生徒に丁寧に対応する技術の研究と実践	2.81	○
C 教員の資質向上と「いきがいの創造」		2.88	○
重点課題	①信頼される存在から尊敬される存在へ	2.79	△
	②良質な職員室文化を創造する	3.05	◎
	③個業から協働へ	2.80	○
D 研究課題		2.89	○
重点課題	①学力向上の取組と特色化	2.71	△
	②心のサポート事業を通じた生徒理解を深める方法	3.02	◎
	③20年後まできれいな学校を残す	2.94	◎

2 学校関係者評価について

地域の方々、保護者等で構成される学校評議員会において上記の自己評価を提示して説明を行い、ご意見をいただいた。

- (1) 将来、AIの役割が増えることで、人間が人間であることがさらに求められる。学校では人間をしっかりと育てて欲しい。
- (2) 知識を教えるだけでなく、考える力を身につけるために、指導内容に計画を持たせるなど、さらなる工夫が必要ではないか。
- (3) 授業見学の際にも授業における課題や、生徒に身につけさせたい事柄を先生がしっかり考えているのかと感じた。日々の授業が何より大切である。

- (4) 地域の教育力が低下しているのも事実なので、高校入学後にも中学の学習内容の復習を組み込んで欲しい。
- (5) 偏差値だけが学校を判断する尺度ではないので、社会の基本的な常識を身につけさせて、丁寧な指導を心がけて欲しいが、先生方の就労時間が危惧される。
- (6) 社会における常識などをもっと学ぶ機会が必要ではないか。地域におけるボランティア活動などに参加する生徒がもっと増えて欲しい。
- (7) 校舎の清掃をしっかりと行って、きれいな校舎を維持して欲しい。
- (8) 勉強することが、もっとも効果的な自己実現であるので、生徒が主体的に勉強に取り組むことができる体制を整えて欲しい。

3 評価結果を踏まえた改善方策

- (1) 年次休暇等の積極的取得、効率的な業務遂行により、勤務時間の適正化に努める。
- (2) 授業力の向上を図るための研修を定期的に行う。特に若手教員の技術と意欲を向上させるための研究をすすめる。
- (3) 学力向上を図り、生徒の基礎学力を高め、効果的な進路指導の実行を図る。
- (4) 昨年度より始業前に「7 minutes challenge (朝の学習時間)」を実施している。また、2年文系生徒を対象として学校設定科目「キャリア探求」を開講し、生徒の主体的な学習意欲の向上、知的好奇心の誘発等を図っている。結果として、教育的な効果が見られたので、来年度も継続して行う。
- (5) 1年ではアドヴァンスクラス(A Dクラス)を設置して意欲の高い生徒を支援する。
- (6) 将来の人生設計に繋がるキャリア教育を進めるため、1年から3年まで計画的かつ組織的な指導を行う。
- (7) ボランティア活動などの体験活動を充実し、生徒の自己肯定感とキャリア意識の向上につとめる。
- (8) スポーツ・コミュニケーション類型(S・C類型)の活性化を図り、特色ある教育実践を全校挙げて取り組む。

(※) 学校評価の自己評価及び学校関係者評価は、本校ホームページ上で公開します。